

市政を
前に動かす

日本共産党の議席を増やして下さい

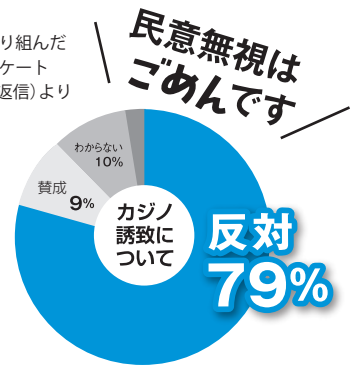
カジノはいらない

キッパリ誘致NO!を示す市議会へ

市民の世論に押され、林市長はカジノ推進から「白紙」に。議会内の推進派も積極誘致を言えなくなりました。国会でカジノ実施法を強行した自民、公明、維新に厳しい審判を下し、カジノ誘致完全ストップへ。

カジノ推進法
強行した自民・
公明・維新に厳
しい審判を!

党市議団が取り組んだ
市民要望アンケート
(1万1427通返信)より



出来たてで、みんなが食べられる、自校調理方式の 中学校給食を実現する市議会へ



全国で当たり前前に実施されている中学校給食。業者配達弁当「ハマ弁」の給食化ではなく、全国の豊かな給食実践に学び、最高の中学校給食を横浜の子ども達へ送りましょう。

中学校給食
設備費(全校) **260億円** 市一般会計の
1.5%

日本共産党の提案

自校調理方式の中学校給食のメリットとして①栄養バランスの良い温かい昼食の提供②食育促進③災害時に役立つ④食材の地産地消、雇用⑤こどもの貧困解消につながります。

市民と力あわせ、市政を動かす

共産党の議席が、前回5人から→9人になって

子ども医療費助成が拡充

・小学1年生から中学3年生へ対象年齢拡大

特養ホームの増設計画

・年300床→600床と倍増に

- ・商店リフォーム助成の創設
- ・ミニバス車両代含む地域交通サポート事業の拡充
- ・保育士処遇改善へ独自助成
- ・防災スピーカー42基増設(2019年度)
- ・危険なブロック塀の撤去・改修補助

- ・敬老パスの継続・学童クラブへの耐震基準等達成への支援策拡充・介護人材の確保予算2.4倍化(2019年度予算)
- ・米軍住宅建設中止で池子の森(37Ha)が守られる

条例提案で行政・議会が変化

- ・平和事業推進条例→平和予算8倍化
- ・再生可能エネルギー導入促進条例 →「脱炭素社会実現」決議へ

税金の使い方を暮らし最優先へ

チェンジ



鶴屋町外国人向けマンション

みなとみらい20街区ホテル

出典：横浜市

自民・公明が推進する
市民の暮らし向上につながらない
不要不急の大型開発、大企業優遇

約 **1000億円**
(2019年度予算)

- 新市庁舎420億円 ●高速道路332億円 ●国際コンテナふ頭135億円 ●外国人向け高層マンション補助金など都心部再開発97億円 ●誘致大企業への助成金22億円 ●カジノ調査検討費1000万円

日本共産党の提案

- 高い国保料の引き下げ
- 特養ホーム増設
- 18歳まで医療費無料
- 認可保育園の増設
- 中小企業支援強化 ●商店街リフォーム助成 ●危険な崖・ブロック塀対策 ●生活道路・歩道・スクールゾーン整備 ●市営住宅の増設 ●バス・公共交通充実 ●敬老パスの継続 ●再生可能エネルギーの促進

●原発ゼロの日本へ ●辺野古の美ら海まろう ●ウソとごまかしの強権政治ごめんです

市民と野党の共闘を進める大事な力

憲法9条活かす日本を 消費税10%中止で暮らしを守る

日本共産党